

認定歯科衛生士 申請資格チェック表 (新規申請用)

下記項目のすべてにチェックがされますと、申請することが可能です。

<チェック項目 4箇所>

- 1 : 日本国歯科衛生士の免許を有する者
- 2 : 認定歯科衛生士(老年歯科)申請時において、継続して3年以上本会正会員である者
注) 会員歴は **OHASYS** で確認してください。
- 3 : 大学病院、病院歯科、歯科診療所、高齢者施設等において、3年以上高齢者に必要とされる歯科医療・保健に従事すること又はこれと同等以上の経歴を有すると認められること

★大学病院、病院歯科、歯科診療所、高齢者施設等の施設条件は下記 A または B のいずれかとする。

A : 本会認定制度 研修機関

B : 下記のすべてを満たした施設

- 1) 日本老年歯科医学会の会員である歯科医師の指導を受けられること
- 2) 高齢者に必要とされる歯科医療・保健指導等が継続的に行われ、1週間に診療あるいは指導する高齢者の症例数が概ね30例以上であること
- 3) 本会に研究発表等の積極的な参加を行っていること
- 4) 高齢者の歯科医療・保健指導等に適した環境であること

注) 勤務先が上記の施設条件を満たさない場合、他のチェック項目を満たした上で、学会事務局までご相談ください。

- 4 : 申請に必要な研修単位を **総計 46 単位** 取得している。

内訳 : ① 下記単位 **14 単位以上** (下記 (2) 症例・事例報告を必ず含む)

- | | | |
|-------------------|---------|-----|
| (1) 臨床経験 *様式4の研修歴 | 1年につき | 3単位 |
| (2) 症例・事例報告 | 1症例(事例) | 5単位 |

② 下記単位 **14 単位以上とし、(1) (3) は必ず含めること** (日時、時間にかかわらずなく1回あたりのものとする)

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| (1) 本会学術大会 | 5単位 |
| *特別講演やシンポジウムは加点できない。 | |
| (2) 本会主催の各種研修会 | 4単位 |
| *本会歯科衛生士関連委員会が認定する支部セミナーも参加単位として認める。 | |
| (3) 学術大会中に開催される本会歯科衛生士関連委員会主催シンポジウム | 4単位 |

③ 下記単位 **14 単位以上** (筆頭著者(演者)、共著者(共同演者)にかかわらず)

- | | | |
|----------------------------|------|------|
| (1) 論文発表「老年歯科医学」 | 筆頭著者 | 15単位 |
| | 共著者 | 5単位 |
| 本会が認定した関連学会の学術雑誌 | 筆頭著者 | 6単位 |
| | 共著者 | 2単位 |
| (2) 学会発表(ポスター発表を含む) 本会学術大会 | 筆頭演者 | 10単位 |

本会が認定した関連学会の学術大会

共同演者 3 単位

筆頭演者 5 単位

共同演者 2 単位

すべてにチェックがされましたら、申請書類を作成してください。